

『あそびのタネ通信』VOL. 36 お届けします。最後までどうぞ、お付き合いください。

## ■ INDEX ■

- (1) イベント報告
- (2) 講座のお知らせ
- (3) 平成 29 年度 青少年体験活動奨励制度
- (4) こども支援士 更新手続きについて
- (5) 事務局より

### ◆ (1) イベント報告 ◆

#### ◆ 2017年度 教育支援人材認証協会シンポジウム 報告

地域で必要とされる子ども支援活動

～地域における子ども支援活動の実践を報告し合う意義を問う～

運営委員長 鈴木 聡（東京学芸大学）

去る 10 月 29 日（日）、一般社団法人教育支援人材認証協会 2017 年度シンポジウムが開催されました。今年度は、「地域で必要とされる子ども支援人材」と題し、教育支援の必要性を確認し合う会というコンセプトで行いました。当日は、台風の影響で悪天候の中での実施となりましたが、約 50 名（スタッフ含）の参加があり、盛会となりました。

はじめに、深谷昌志先生（東京成徳大学名誉教授）から「子どもを支援するとは」という演題で、シンポジウムの趣旨説明をしていただきました。大人のやさしいまなざしや一言が、その子が生きていく原動力になることもあるというお話が印象的でした。地域の大人が子どもたちを「支える」ことは、子どもの成長にとって大きな意味があることが、深谷先生ご自身の体験や調査データからお示いただき、再認識できました。体験活動では、大人が用意したプログラムをこなすことだけでなく、例えば「何もしない日」を設ける、「子どもにやりたいことを自分たちで考えさせる」というような構えも必要であるというお話は、子どもたちの主体性を伸ばすことの本質的な意味を改めて考えるきっかけとなりました。

続いて、本協会理事、NPO 法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長の生重幸恵さんから、基調講演をしていただきました。教育界における制度改革や「立場を越えてチームで取り組む意義」について大変わかりやすく解説いただき、どのように具現化するかについての方法も紹介いただきました。多様な大人が子どもに関わることでたくさんのやさしい視線が注がれる、それが子どもたちの安心感につながるというお話は、子どもを支援する意味そのものだと思います。学校においてはキャリア教育という視点から、様々な人材が教育に関わることの必要性を具体的な事例を示していただきました。制度が改革されてもその本質的な部分は、「子どもたちを支援する」という実践的な取組みの中で、「今まですでにやられてきたことである」というお話は大変心強いもので、参加者の方々へのエールとなりました。

続くパネルディスカッション「地域で必要とされる子ども支援活動」では、あきる野サマーチャレンジ

実行委員長の遠藤隆一さんから、活動の様子を報告いただきました。子どもたちを支え、育てていく際に3つの「きょういく」があるというお話は、心に響きました。「共育（子どもと共に学生スタッフも、大人も学び合い育つ）」、「協育（学校・地域・家庭で連携し、社会全体で子どもを育てる）」、「郷育（秋川流域の自然・伝統文化に触れ、有形無形問わず地域で育てる）」の3つです。「ふるさとを誇りに思う人づくりと、あきる野の香りがする『あきる野っこ』を育てる」というコンセプトによる活動を、写真や動画を用いて具体的に紹介いただきました。今回は100kmを歩くという実践です。報告では、スタッフとして参加された学生の方、実際に参加した小学生の方、そしてそこに参加させた保護者の方の「生の声」もお聞きすることができました。まさに、子どもが育ち、学生が育ち、大人も成長するという大きな「ナナメの関係」で、地域での教育が実現していることが伝わりました。

続けて、東京学芸大学の杉森伸吉教授から、社会心理学の立場で体験の意味を価値づけていただきました。話題提供の中でちょっとした心理実験も入れていただき、説得力のあるお話でした。「同じ体験をしても捉え方や感情は人それぞれであり、そのこと自体に大きな意味がある」ということをわかりやすく解説していただきました。

その後、参加者全員で意見交流を行いました。前半は、サマーチャレンジの報告に関する質問、意見を交換しました。成功体験のみを求めない活動も重要であることや、大人が安全面を徹底的に担保した上での活動を行うことの重要性、地域の活動であるからこそ、学校の二次体験ではなく、自由で大胆な取り組みをさせたいというような意見が出されました。後半は、このシンポジウムの柱の一つである、「実践を報告する意味」について議論しました。子ども支援学会（仮称）を立ち上げることを想定したときに、その会には何を期待するかという視点でもたくさんのご意見を頂きました。「成功事例だけでなく、失敗事例から学べることもある」という視点は、数名の方から出されました。また、実践を「報告する」ことの意義については、客観的に活動をふり返ることができ、さらには他者からの意見をもらうことで明確な次への指針を立てられることに良さがあるということも述べられました。学会のような場に期待することとして、子ども支援士等の認証を得た後もスキルアップにつながる研修が提供されることに期待がよせられました。また、実践自体の報告に留まらず、実践における子どもたちの変容について、科学的なデータを示しながら効果を見ていくような「体験の科学」という視点も大事であるというお話も出しました。

終盤には、コメンテーターの一般社団法人日本プレイワーク協会代表理事及川研先生（東京学芸大学教授）及び基調講演をしてくださった生重さんから、意見交流会に対するコメントをいただきました。実践報告では成功事例と失敗事例の両方が語られることが望ましく、その積み重ねからよりよい実践を追究することが大事であること、こうした活動は、地域丸ごと広め、育てていくことが理想であり、イベントとして提供しつつもやはり子どもの自主性、主体性を伸ばしていくことは外せない理念であることが確認されました。最後に深谷先生が述べられた「子どもの声が聞こえる町」を再びつくりたいという言葉は、参加された方全員が共有した思いであったと思います。

たくさんのご参加に感謝いたします。

#### ◆ 平成29年度文部科学省委託事業 体験活動推進プロジェクト 「青少年体験活動奨励制度 アドバイザー研修会」 報告

平成29年10月29日（日）15:00-16:30に東京学芸大学中央講義棟（G棟）102号教室で東日本ランチのアドバイザー研修会が行なわれました。参加者は、教育支援人材認証協会から、小森伸一（青少年体験活動奨励制度委員会委員長）、杉森伸吉（同副委員長）、小山田佳代、田中美津代、浜泰一（以上、事務局研究員）の5名、アルバイト学生2名、発表者である遠藤隆一氏（あきる野

サマーチャレンジ運営委員長)、伊藤潤氏(KTC中央学院教諭)を含めた一般参加者16名で、合計23名でした。

初めに、本制度委員会委員長小森伸一氏からの制度説明と体験活動の意義について話があり、そのあと、現アドバイザーお二人の活動紹介がありました。

後半は、参加者の意見交換会で、「ボランティア活動がみつけづらい。」など困った点や、体験活動を終わると、「子どもたちの自己肯定感が上がり、コミュニケーション能力も高まった実感が持てる。」

というアドバイザーの醍醐味であるエピソードも伺うことができ、悪天候の中でありましたが、

参加者は熱気にあふれ、盛会に終わりました。

このあと、各ブランチでもアドバイザー研修会(交流会)の開催を予定しています。

---

## ◆ (2) 講座のお知らせ ◆

---

### 【備中こどもサポーター育成講座】日程変更

下記の講座は開講日が11月13日月曜日から11月30日木曜日に日程が変更されています。

「こどもサポーター講座『地域・社会と子ども』(備中こどもサポーター講座 第6回)」

日時:平成29年11月30日(木)10:00~12:00

場所:岡山県笠岡市 笠岡市民会館

※本講座は、備中地区の放課後支援員を対処とした講座になります。

○お問い合わせ先:中国学園エクステンションセンター TEL:086-293-2508

### 【白梅学園大学 こどもサポーター認証講座】

「こどもサポーター(こころ支援)養成講座」

○日 時:平成30年2月26日(月)9:50~15:40

27日(火)13:00~16:10

28日(水)10:40~16:10

○会 場:白梅学園大学

○対象者:教育、福祉、子どもに関心のある方

子ども支援について学びを深めたい方

○受講料:5,000円

○申込受付:平成29年8月7日(月)~講座開催前日まで

○定員:50名(定員になり次第、締め切ります。)

※本講座受講後に「こどもパートナー」「こどもサポーター(こころ支援)」の認証に申請(有料)できます。

こどもパートナー:2,000円

こどもサポーター:4,000円(こどもパートナー2,000円含む)

問合せ先

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

白梅学園大学・短期大学 地域交流研究センター 公開講座係

TEL : 042-313-5990

FAX : 042-346-5652

mail : kouza@shiraume.ac.jp

---

◆ (3) 平成 29 年度 青少年体験活動奨励制度 ◆

---

今年度の青少年体験活動奨励制度の活動者の募集は終了しました。  
たくさんのご応募ありがとうございました。

何かございましたら、お気軽に JACTES 事務局へご相談ください。

【問合わせ先】

一般社団法人 教育支援人材認証協会 青少年体験活動奨励制度事務局

担当：小山田 佳代

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学内

TEL&FAX : 042-329-7605

Email : [info@Japan-youth-award.net](mailto:info@Japan-youth-award.net) HP : <http://www.japan-youth-award.net/>

---

◆ (4) こども支援士 更新手続きについて ◆

---

【こども支援士認証 更新について】

本年度の更新対象（更新期限：2017 年 3 月 31 日）の皆様には、更新手続きについてのお便りをお送りしました。

お便りが届きましたら、更新の手続きをよろしくお願い致します。

また、更新期限が 2017 年 3 月 31 日のこども支援士の方で、更新手続きについてのお便りがお手元に届いていない場合はお手数ですが事務局までご一報ください。

---

◆ (5) 事務局より ◆

---

- 「子育て支援員研修テキスト」を発刊しました。平成 27 年度厚生労働省調査研究事業「子育て支援員研修の充実に関する調査研究事業報告書」における、『標準的な履修・指導内容の教材例』を底本として、総合的なテキストが出版されました。報告書の作成に携わってくださった子育て支援各分野の第一線で活躍されている執筆陣により、さらに充実した内容となっております。

監修：一般社団法人教育支援人材認証協会

編集：子育て支援員研修テキスト刊行委員会

発行：中央法規出版

定価：2,700 円（税込）

\* 購入の際は、下記 URL をご参照ください。

<https://www.chuohoki.co.jp/products/welfare/5407/>

---

一般社団法人 教育支援人材認証協会 事務局  
東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学内  
TEL&FAX : 042 - 329 - 7605  
E-mail : [info@jactes.or.jp](mailto:info@jactes.or.jp)  
URL : [www.jactes.or.jp](http://www.jactes.or.jp)  
Facebook : <https://www.facebook.com/jactes>

---